

第3回 とよた歴史検定

上 級

時間 10時30分～11時30分（60分）

〔 注 意 事 項 〕

1. 監督の指示があるまで、問題用紙と解答用紙に手を触れてはいけません。
2. 問題は**1**から**50**までです。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止してください。
5. 印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督の指示に従ってください。なお、問題についての質問には一切応じません。
6. 解答用紙の回収は、監督の指示に従ってください。

選択問題は解答用紙の該当記号に○をつけて下さい。

1. 旧石器時代の末期には、長さ3～4 cm、幅数mm以下の小型の細長い石器が登場した。木や骨で作った柄に細い溝を刻んではめ込み、槍として使った。豊田市内では、梅坪遺跡（東梅坪町）・大明神B遺跡（渡刈町）などで散発的に発見されている。この石器は次のうちどれか？

ア：ナイフ形石器 イ：石鏃 ウ：細石刃 エ：搔器

2. 酒呑ジュリナ遺跡（幸海町）で出土した愛知県内最古の縄文土器は次のうちどれか？

ア：微隆起線文土器 イ：亀ヶ岡土器 ウ：曾利式土器 エ：火焰土器

3. 縄文時代は約1万年間続き、土器形態などから6時期に区分されている。縄文時代中期にあたる時期は、土器の形態はもっとも装飾的になり、種類も多くなる。旭地区下切町のある遺跡からは、写真のような中期の「釣手土器」や「蛇形の把手」が出土した。この遺跡は次のうちどれか？



ア：曾根遺跡 イ：水汲遺跡 ウ：大砂遺跡 エ：大窪遺跡

4. 縄文時代の人々は、植物採集・狩猟・漁労で食糧を得ており、中でも木の実や根などの植物食が中心で、稲武地区の中村遺跡（桑原町）や高橋地区の寺部遺跡（寺部町）では、ドングリやトチの木の実を蓄えた多数の貯蔵穴が発見された。木の実を食するためには、アクを抜いたあと、すりつぶして粉状にし、団子のように固めて焼いたり、粥状にして食べていた。では、木の実をすりつぶすために使われた道具として、適当なものは次のうちどれか？

ア：石臼 イ：石錐 ウ：石皿 エ：石棒

5. 右の写真は、足助地区から出土した縄文時代の土偶である。この土偶が出土した遺跡では、環状配石遺構、注口土器や土偶・石棒などが発見され、県指定の史跡になっている。この遺跡は次のうちどれか？



ア：北貝戸遺跡 イ：大安寺遺跡
ウ：今朝平遺跡 エ：船塚遺跡

6. 弥生時代中期の矢作川中流域では、川原遺跡（鴛鴨町）が拠点的なムラとして営まれ、中期末頃から後期にかけて高橋・拳母地区一帯にムラが増えていくが、集落を囲む複数の環濠がみつかった弥生時代のムラは次のうちどれか？

ア：栃原遺跡（東山町・渋谷町） イ：高橋遺跡（高上・上野町・高橋町）
ウ：神明遺跡（鴛鴨町） エ：梅坪遺跡（東梅坪町）

7. 右の写真は手呂町で発見された弥生時代の銅鐸だが、何式に分類されているか？次のうちから選びなさい。

ア：三河式 イ：遠州式 ウ：三遠式 エ：出雲式



8. 竪穴住居や方形周溝墓内から鉄鏃^{てっさい}3点、鉄滓などが出土し、弥生時代の終わり頃に鉄器生産が行われた遺跡は次のうちどれか？

ア：亀首遺跡（亀首町） イ：南山畑遺跡（広川町）
ウ：伊保遺跡（保見町） エ：神明遺跡（鴛鴨町）

9. 下の（ ）にあてはまる語句を次のうちから選びなさい。

鴛鴨町の川原遺跡では、弥生時代の拠点的なムラが営まれていた。川原遺跡では市内最古にあたる（ ）が見つまっている。（ ）は、周りに溝をめぐるせ、内部に低い盛土をし、木棺や土器棺、土坑墓といった埋蔵施設を設置し遺体を葬ったお墓である。

ア：四隅突出型墳丘墓 イ：経塚 ウ：方墳 エ：方形周溝墓

10. 右の写真は市内の代表的な古墳の横穴式石室から出土した装飾須恵器で、これらの出土品は国の重要文化財として指定を受けている。墳丘は県の指定史跡になっている。この古墳の名称を書きなさい。



11. 右の写真は、消滅した宇津木古墳（花本町）から出土した県指定文化財の鏡である。

この鏡の名称を次のうちから選びなさい。

ア：三角縁神獸鏡 イ：手鏡
ウ：柄鏡 エ：内行花文鏡



12. 上向イ田3号窯・4号窯は西三河地方最古の窯跡であるが、そこで生産されていたものとして適当なものは次のうちどれか？

ア：土師器 イ：須恵器 ウ：瓦 エ：山茶碗

13. 矢作川の左岸、平戸橋の東方丘陵上には南北300mにわたって8基の古墳が築かれていた。これらは市の史跡として指定されている。古墳はいずれも円墳で、1号墳は昭和45年（1970）に、8号墳は昭和49年（1974）に調査されている。この古墳群は地名で呼称されているが、その名称は次のうちどれか？

ア：平戸橋古墳群 イ：馬場瀬古墳群 ウ：勘八古墳群 エ：青木原古墳群

14. 右の写真は、日本では現在のところ2つしか残っていない古代の郷印で、市指定文化財として豊田市郷土資料館に収蔵されている。この郷印に記された文字を漢字四文字で記入しなさい。



15. 「参河国 賀茂郡 拳母郷 延暦十二年」の墨書のある瓦が出土したのは次のうちどこか？

ア：平安京跡 イ：長岡京跡
ウ：平城京跡 エ：藤原京跡



16. 大宝元年（701）に大宝律令が制定されると、律令体制が整備されていき、全国は五畿七道に分けられた。東海道の三河国は、七郡（のち八郡になる）が置かれた。現在の市内の大部分は、2つの郡にまたがり、旭地区の一部は美濃国恵那郡、稲武地区の一部は宝飯郡（のちに設楽郡）に属した。市内の大部分が属した2つの郡は、次のうちどれか？

ア：額田郡・碧海郡 イ：賀茂郡・額田郡
ウ：賀茂郡・碧海郡 エ：賀茂郡・幡豆郡

17. 下の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

6世紀半ば、仏教が日本に伝わってきた。市内にも仏教の教えが広がり、立派な伽藍配置をもった古代寺院がいくつか建立された。そのうち、猿投山麓東側の丘陵地に、塔心礎と3個の礎石が残り、古代瓦が出土し、昭和4年（1929）に国の史跡指定を受けた（ ）廃寺がある。

18. 現在の隨應院（寺部町）の場所には、古代寺院があったことが知られている。隨應院境内では、塔の中心になった1辺約140cmの花こう岩の塔心礎が残り、発掘調査では布目瓦が出土した。この古代寺院の名称は、次のうちどれか？

ア：北野廃寺 イ：慶雲廃寺 ウ：勸学院文護寺 エ：伊保古瓦出土地

19. 猿投窯では、古墳時代から生産されていた須恵器にかわって、平安時代初め頃から灰釉陶器（植物の灰を釉薬とした陶器）が生産されるようになる。太平町にある市内の代表的な灰釉陶器の窯は次のうちどれか？

ア：東山古窯 イ：七曲1号窯 ウ：宮口古窯 エ：白山古窯

20. 鎌倉時代、現在の豊田市駅周辺は何という荘園に属していたか？次のうちから選びなさい。

ア：高橋荘 イ：拳母荘 ウ：寺部荘 エ：上野荘

21. 大内町にある松平氏の山城で、高月院・松平城跡・松平氏館跡とともに国指定史跡松平氏遺跡になっている山城は次のうちどれか？

ア：市場城 イ：大給城 ウ：上野上村城 エ：飯盛城

22. 次の写真は豊田市指定文化財の一双の屏風のうち、織田徳川連合軍と武田勝頼の戦いを描いているものである。信長の鉄砲隊が活躍したことでも知られるこの戦いの名称を書きなさい。



23. 寺部地区を治めた渡辺家の初代で、徳川十六将にも数えられた写真の人物は次のうちどれか？

ア：渡辺重綱 イ：渡辺寧綱
ウ：渡辺守綱 エ：渡辺規綱



24. 寺部地区には渡辺家家臣であった松本家と遊佐家の江戸時代の建築物が残り、豊田市指定文化財となっている。近年修理を行い、公開しているこれらの建築物は何か？ 次のうちから選びなさい。

ア：茶室 イ：長屋門 ウ：主屋 エ：弓道場

25. 三河代官として幕領となった挙母・伊保などを治めた家の人物で、挙母神社（挙母町）の東に堤防を築き、矢作川の洪水を防いだ写真の人物の名前を書きなさい。



26. 徳川四天王のひとりで、上野（上郷町）に生まれた人物は次のうちどれか？

ア：内藤正成 イ：榊原康政 ウ：本多忠勝 エ：宇都宮三郎

27. 江戸時代のはじめ、足助の領主は度々交代したが、天和元年（1681）に本多忠周が領主となってからは、幕末まで本多家が治めた。本多家と足助について記した次の文章のうち、誤っているものを選びなさい。

ア：足助四町のうち本町の名称は、本多家が陣屋を置いたことに由来する。

イ：忠周が寺社奉行に就任し加増されたため、足助は4年間だけ藩であった。

ウ：本多家は香嵐渓に紅葉を植え、景勝地として整備した。

エ：本多家は財政が苦しくなると、足助の豪商に金銭の融通を頼んだ。

28. 足助の町並みは、江戸時代から栄えた商人の町であるが、足助が栄える要因となったことは次のうちどれか？

ア：街道の中継地として、多くの物資や人々が行き来したため。

イ：山や川で捕れる獣や魚が挙母藩でよく売れたため。

ウ：領主が豊かで、商業を発達させるために資金援助したため。

エ：塩が多く生産されたため。

29. 下の（ ）にあてはまる語句を次のうちから選びなさい。

足助の町並みは愛知県で初めて（ ）に選定された。県内では有松が、県外では京都市の祇園や金沢市の東山ひがしなども（ ）に選定されている。

ア：重要伝統的建造物群保存地区 イ：重要文化財

ウ：国指定史跡 エ：名勝

30. 現在は資料館として利用されている足助の中馬館は、大正元年（1912）に建てられた銀行の建物で、愛知県指定有形文化財となっている。どの銀行の支店であったか？ 次のうちから選びなさい。

ア： 拳母銀行 イ： 稲橋銀行
ウ： 高橋銀行 エ： 岡崎銀行



31. 江戸時代後期、俳句が盛んになり、豊田市域でも多くの商人・武士などが俳句を詠んだ。足助の商家・池田屋に生まれ、岡崎の鶴田卓池などに師事、全国の番付にも掲載された俳人は次のうちだれか？

ア： 風外本高 イ： 板倉塞馬 ウ： 中島秋拳 エ： 都筑青可

32. 天保7年（1836）に起きた加茂一揆は、水戸藩主徳川斉昭が11代将軍に提出した「戊戌封事」（幕府改革案）に、大塩平八郎の乱とともに挙げられる大規模なものであった。どこから発生したものか？ 次のうちから選びなさい。

ア： 高岡地区 イ： 松平地区 ウ： 小原地区 エ： 下山地区

33. 天正7年（1579）に加茂郡則定城主の長男に生まれ、二代将軍徳川秀忠に仕えたのち出家し布教活動を行った人物は次のうちだれか？

ア： 三宅康貞 イ： 鈴木正三
ウ： 田中吉政 エ： 村上忠順



34. 江戸時代、大名の内藤家は六家あり、そのひとつが拳母藩内藤家である。また、2014年に公開された映画「超高速！参勤交代」の舞台は、湯長谷藩（陸奥国）内藤家である。次の藩のうち、内藤家が治めたのはどれか？

ア： 延岡藩（日向国） イ： 今治藩（伊予国）
ウ： 掛川藩（遠江国） エ： 松江藩（出雲国）

35. 「麗子像」で知られる洋画家・岸田劉生の父親である岸田吟香は豊田市にゆかりのある人物である。岸田吟香について書かれた次の文章のうち、誤っているものを選びなさい。

ア： 拳母藩の儒官として崇化館で教えた。
イ： 剣術師範として拳母藩に招かれ、城下に道場を開いた。
ウ： 日本初の和英辞書の刊行、新聞記者、目薬の開発販売を行った。
エ： 拳母藩飛地（離れた領地）の美作国出身である。

36. 以下は、ある人物についての説明である。その人物を次のうちから選びなさい。
現在の豊田市花本町に生まれ、逓信省技術官僚として勤め、退官後は日本電話施設株式会社、株式会社エフエム愛知を設立するなど、晩年まで実業家として活躍した。その一方で、古陶磁の研究に取り組み、特に猿投山西南麓古窯跡群の発見で著名となり、その資料の収集・研究により、郷土の文化の発展に貢献したことから、豊田市名誉市民に推挙された。

ア：藤井達吉 イ：本多静雄 ウ：高橋節郎 エ：牧野敏太郎

37. 次の写真は、旭地区の住宅の2階の壁に描かれた汽車で、旭郷土資料館で展示されている。豊田市域に鉄道が走ったのは、知立～土橋間がはじめであるが、いつのことか？ 次のうちから選びなさい。

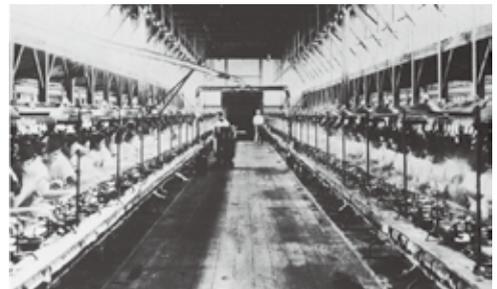
ア：明治19年 イ：大正9年
ウ：昭和3年 エ：昭和18年



38. 明治時代に滋賀県の西澤真蔵（写真）らの出資でつくられ、平成28年に130周年を迎えた用水の名称を書きなさい。



39. 大正6年(1917)から昭和56年(1981)まで、現在の豊田産業文化センター(小坂本町)の敷地で営業していた製糸工場の名称を書きなさい。



40. 刈谷の豊田自動織機製作所内に自動車部を設け、挙母町に自動車工場の用地斡旋の申し入れをした人物の名前を書きなさい。

41. 第二次世界大戦中の昭和20年（1945）1月3日、名古屋上空で日本の戦闘機に体当たりを受けたB29が豊田市域に墜落したが、それはどこか？次のうちから選びなさい。

ア：松平 イ：猿投 ウ：足助 エ：小原

42. 第二次世界大戦中に名古屋城本丸御殿のふすま絵などの文化財が疎開した神社は次のうちどれか？

ア：猿投神社 イ：糟目春日神社（渡刈町）
ウ：拳母神社 エ：灰宝神社（越戸町）

43. 重要無形民俗文化財に指定されている綾渡の夜念仏と盆踊は、毎年8月10日と15日に足助地区にある寺で行われている。その寺の名称を書きなさい。



44. 拳母市が豊田市と市名変更した年は次のうちどれか？

ア：大正5年 イ：昭和26年 ウ：昭和34年 エ：昭和47年

45. 明治時代、松平地区では水車動力を利用したガラ紡工場が発展した。ガラ紡工場とは何か？次のうちから選びなさい。

ア：庭園などに使用する石を加工する工場
イ：着物を織る工場
ウ：綿から糸を作る工場
エ：和紙を作る工場

46. 高度経済成長期、自動車の普及は交通事故の増加につながり、豊田市では昭和41年（1966）に、園児の列にダンプカーが突っ込み、死者11人を出す痛ましい事故が起きた。この事故は全国に報道され、交通安全への意識を高めることとなった。「〇〇ダンプ事故」として語り継がれるこの事故が起きた場所はどこか？次のうちから選びなさい。

ア：猿投 イ：足助 ウ：高岡 エ：拳母

47. 豊田産業文化センター（小坂本町）の敷地には、大正期の料理旅館の建物が移築されている。明治後期から神明町で営業していた料理旅館で、戦前には養蚕業、戦後には自動車産業の関係者に利用された。この建物の名前を書きなさい。



48. 写真の雲版（禅宗寺院において食事の時刻を知らせるために打ち鳴らす法具）は、徳川家康が三河一向一揆との戦いに敗れ、本陣であった寺まで矢を避けるために背負って逃げてきたものである。家康の本陣となっていた寺は次のうちどれか？



- ア：隣松寺 イ：隨應院
ウ：如意寺 エ：高月院

49. 豊田市が現在の市域となったのは平成17年であるが、そのときに合併した町村は、稲武町・小原村・旭町・藤岡町・下山村と、あとひとつはどこか？次のうちから選びなさい。

- ア：高岡町 イ：猿投町 ウ：上郷町 エ：足助町

50. 平成29年1月に豊田市郷土資料館は開館50周年を迎える。豊田市郷土資料館開館のきっかけとなったできごとは次のうちどれか？

- ア：長興寺の「紙本著色織田信長像」が発見された
イ：豊田大塚古墳が発掘された
ウ：トヨタ自動車から建物の寄附を受けた
エ：猿投神社の「檜鳥糸威鎧 大袖付」の修理を終えた

